

令和7年度 愛心こども園の事業計画と主な取り組み

当愛心こども園は「幼保連携型認定こども園愛心こども園」としてスタートしてから6年目を迎えました。乳幼児期が生涯にわたる身体的・精神的・社会的発達の基礎を培う極めて重要な時期であり、かつ、こども園で乳幼児がその生活時間の大半を過ごすところでもあるという視点に立ち、家庭や地域社会と十分な連携をとって、情緒の安定した場所を提供すると共に、より良い発達を図るよう努めています。

そして令和7年度、心も新たに全ての子どもたちの健やかな育成、子どもの最善の利益を保障していく中から、子どもと家庭に優しい環境づくりを展開し、地域の子育てセンターとしての役割をしっかりと果たせるよう、多様なニーズに応えていきたいと考えております。

更に一人ひとりの細やかな教育・保育に力を注ぎ、療育支援、一時預かり事業、地域活動事業、園庭開放、子育て相談など、ニーズの高い保育サービスに取り組む事で、保護者支援に繋げ、子育てのしやすい地域づくりに貢献して参ります。

又、近年「子ども主体」や「こどもまんなか」という教育保育が叫ばれている中で、これ迄の一斉保育からシフトしていく為に、令和5年度より本格的に取り組んできて3年目に入ろうとしておりますが、これまで長年行ってきた保育を変えていく事の難しさを痛感しながら、日々頑張っている所です。

今後も一人ひとりの子どもたちが、多くの体験や自分の好きな活動を通して、自ら考える力を育み、多くの事を学べる環境づくりを職員と共に考えながら、子どもたちそして職員も輝ける園づくりを目指して、実践園の見学や研修の受講などを積極的に行い、理解を深めていく事で、一步一步着実に前に進んでいけるよう努力したいと思っております。

以上のような事も踏まえた上で、当こども園の特色も活かし、基本理念である思いやりの心（手伝う・励ます・ありがとう）の三原則を実践しながら、今後も地域に愛され、地域に根差したこども園づくりを目指して、全職員で共通理解を深め、力をあわせて努力して参ります。

令和7年度 第2 愛心こども園の事業計画と主な取り組み

はじめに

法人理念である「思いやり保育」を基本とした園運営のもと、当園の教育・保育理念である「保育は愛なり、愛は力なり」…入所する全ての乳幼児の最善の利益を図り、個としての人権、人格を尊重する…という教育・保育理念に込められている深い思いを、全職員で共通理解した上で、個性を尊重した教育保育の実践に努めます。

更に、乳幼児期は生涯にわたる人格形成の土台をつくる極めて重要な時期であり、園でその生活時間の大半を過ごすところであるという視点にたち、家庭や地域社会と十分な連携をとって、情緒の安定した場所を与えると共に、より良い健やかな発達を図ることができるよう、令和7年度も気を引き締めて取り組んでいきたいと思ひます。

次に保護者支援においては、少子化や核家族、単身世帯など様々な家庭背景により、子育てに不安を感じたり、様々なストレスを感じている保護者にもしっかりと寄り添いながら、人権を大切にしたい子どもを尊重する関わりを念頭に置き、共に子育てをしていくことができるよう、地域の子育てセンターとしての役割を十分に担っていきます。

3つめに職員の育成面においては、キャリアパスにおける専門リーダーや分野別リーダーの役割について各職員が理解を深めながら、当園の特色を活かしつつ子どもが主体になれる教育保育の実践を継続し、職員一人ひとりが自己を高める為の学びの姿勢を強化していきたいと思ひます。。

そして今年度は、「保育者、保護者から選んでもらえる園の組織マネジメント」をテーマに、みんなで力を合わせて働く！共通の目的や目標を持って協働するチーム作りを目指し、目の前にある課題に全職員で同じ方向を向いて努力していくことができるよう、熱い思いを寄せ令和7年度も取り組んでいきます。